福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年９月１４日（月）

２　確認箇所

共用プール建屋（図１）

３　確認項目

２号機燃料取り出し作業の状況

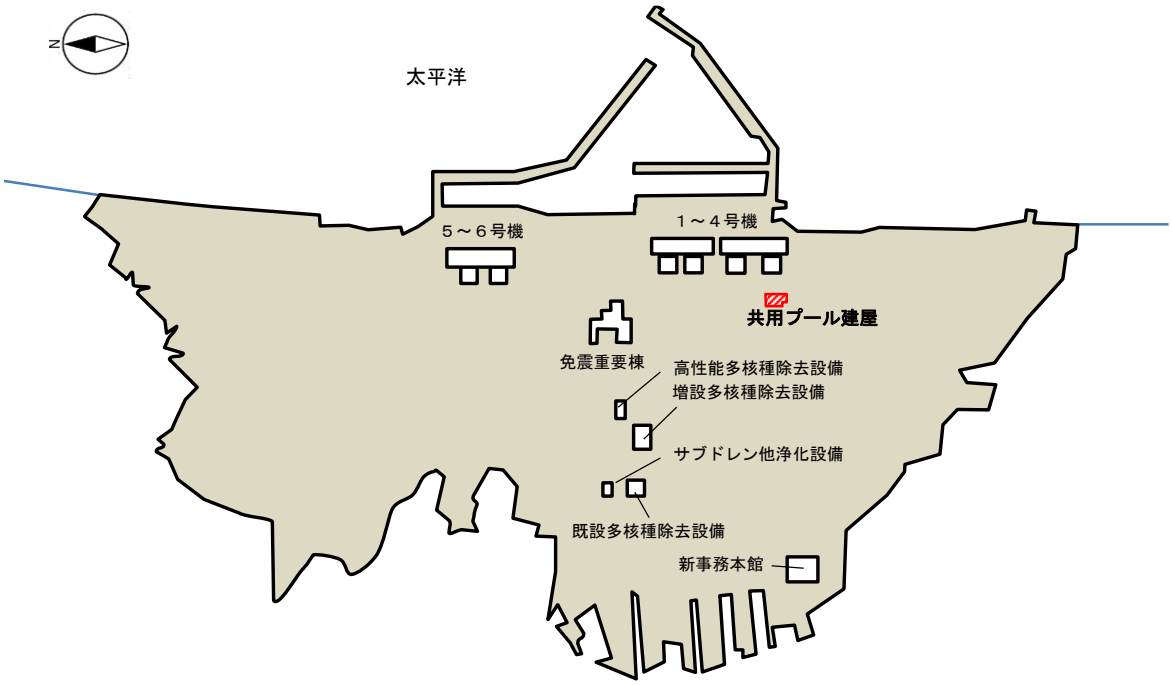
４　確認結果の概要

東京電力は、２号機使用済燃料プールに貯蔵されている６１５体の燃料について、令和１０年度中の取り出し完了を目指し、令和８年６月２日に燃料取り出し作業を開始した。

２号機使用済燃料プールから取り出した使用済燃料は、輸送容器（以下「キャスク」という。）に７体ずつ収納され、２号機原子炉建屋から共用プール建屋へ輸送される（図２：使用済燃料の輸送工程）。現在、キャスク１０基目の輸送作業が進められている。

今回、キャスクを共用プール建屋に搬入する作業が行われることから、その状況を確認した（図２の06）。（前回確認：令和８年５月１２日）

・共用プール建屋内において、キャスクを構内輸送用の運搬車両から共用プール建屋内輸送用の輸送台車に積替える作業が行われていた。
・輸送台車に積替え後、天井クレーンを用いてキャスクを吊り上げ、共用プールに隣接している除染ピット内へ搬入する作業が行われていた。（写真１）
・作業エリア内に設置されている線量表示器を確認したところ、作業中において著しい線量上昇は認められなかった。また、熱中症防止対策として、作業エリア内には扇風機や送風機が設置されていた。（写真２）
・一連の作業において異常は認められず、各工程ともに安全に留意しながら慎重に作業が進められていた。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図

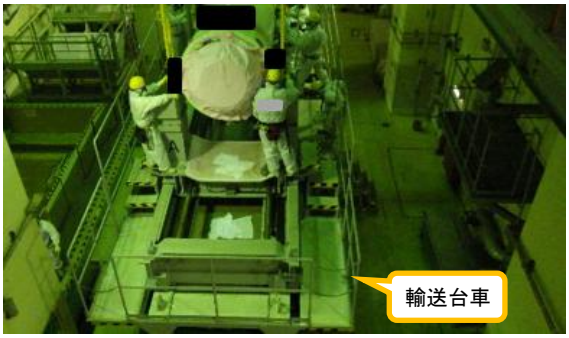


※「プール」は使用済燃料プールを指す。

（図２）使用済燃料の輸送工程



（写真１－１）キャスクの積替え作業の状況



（写真１－２）建屋内でのキャスクの輸送状況



（写真１－３）キャスク吊り上げ作業の状況①



（写真１－４）キャスク吊り上げ作業の状況②



（写真１－５）除染ピット搬入後の状況



（写真１－６）除染ピット内の状況



（写真２－１）線量表示器の設置状況



（写真２－２）送風機等の設置状況

５　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。